

令和4年9月28日（水）

「小さな輪から大きな輪へ・・・続けることの意義」

先日、校門であいさつ運動をしていた〇〇先生が、「台風通過後の後片付けを2年生数人のボランティアの生徒たちが頑張り、大変助かっています。」と嬉しそうに話してくれました。道路向かいから、青ネームの2年生が数人、朝の挨拶運動に参加していたり、ほうきをもち、校内美化に頑張ってくれたりしているのは気付いていましたが、話をよく聞くと、ほぼ毎日、あいさつ運動や清掃活動を自主的に行ってくれているとのこと。これを聞いて、私は本当に嬉しく思いました。

「人、ものに優しい志布志中」という話を皆さんは覚えてくれているでしょうか？

この2年生の姿は、まさに「人、ものに優しい」行動だと私は思います。

誰かに評価されるため、または、決められた当番だからやるということだけでなく、自分たちで考え、自主的に行動に移している点が大変素晴らしいです。そして、さらに素晴らしいのは、それを継続していることだと考えます。

何事も一所懸命やっていくと大変さより楽しさが勝ってきます。心の変化が行動や習慣を変えていくのです。

皆さんに次の有名な言葉を紹介します。

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる

自分がちょっと頑張るとできることを続けていくと、この言葉の最後のように、自分の運命（人生）が変わってくるかもしれません。きっかけは、意外と自分の足元にあったりするものですから・・・。